

- 昭和57年 2月 湯浅広川消防組合設立県知事許可
4月 湯浅広川消防組合設立
管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
新規職員17名採用し県消防学校初任教育に入校
湯浅町より2名、広川町より2名職員派遣
大西 辰次(署長心得)消防大学校に入校(広川町から派遣)
7月 ホンダスーパーカブ70CC購入
8月 湯浅町消防団事務所を消防本部消防署に改築
9月 初代消防長に 井角 武雄 就任(湯浅町から派遣)
県消防学校初任教育17名修了
大西 辰次消防大学校卒業
10月 湯浅広川消防組合消防本部消防署業務開始(総員22名)
ポンプ車、積載車、救急車、各1台
(救急車については日本自動車工業会より寄贈される)
- 昭和58年 3月 吉備金屋消防組合(有田川町消防本部)との間に消防相互応援協定を締結
5月 訓練塔を設置
6月 第12回県下消防救助技術会へ出場(4名)
7月 第12回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
9月 広報車を購入
- 昭和59年 1月 消防長に 岡田 敏男 就任(湯浅町から派遣)
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
6月 ホンダスーパーカブ50CC購入
第13回県下消防救助技術会へ出場(4名)
7月 第13回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名)
昭和60年1月職員1名退職(総員21名)
- 昭和60年 4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員22名)
6月 第14回県下消防救助技術会へ出場(2名)
7月 第14回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
消防長に 中 盾夫 就任(湯浅町から派遣)
9月 職員1名消防大学校火災調査講習会修了
県消防学校初任教育1名修了
昭和61年1月職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 昭和61年 3月 和歌山県農協共済福祉協会より救急車1台寄贈される
4月 管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
6月 第15回県下消防救助技術会へ出場(3名)
7月 第15回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 昭和62年 4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員23名)
6月 第16回県下消防救助技術会へ出場(3名)
9月 県消防学校初任教育1名修了
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 昭和63年 1月 日高広域消防事務組合との間に消防相互応援協定を締結
職員1名消防協会有田支部長より表彰される
2月 和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員24名)
東近畿支部消防職員意見発表会出場
6月 第17回県下消防救助技術会へ出場(5名)
9月 県消防学校初任教育1名修了
11月 職員2名県消防学校救急専科教育修了
- 平成 元年 2月 和歌山県消防職員意見発表会にて最優秀賞受賞
3月 軽貨物車購入
4月 新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員25名)
東近畿支部消防職員意見発表会出場
6月 第18回県下消防救助技術会へ出場(5名)
8月 吉備町で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加
9月 県消防学校初任教育1名修了
10月 甲種防火管理者資格講習会実施
11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了

		集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
	12月	小型動力ポンプ付水槽車購入
平成 2 年	1月	職員1名県消防学校救急専科教育修了
	4月	管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
	5月	職員1名和歌山県知事より功労章を受章する
	6月	第19回県下消防救助技術会へ出場(5名)
	7月	兼任救助隊を設置
	11月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了
平成 3 年	6月	第20回県下消防救助技術会へ出場(5名)
	9月	甲種防火管理者資格講習会実施
	11月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了
平成 4 年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	4月	管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
	6月	第21回県下消防救助技術会へ出場(6名)
	7月	第21回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(1名)
		職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
	9月	集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
	11月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了
		消防本部・消防署業務開始10周年式典を挙行
平成 5 年	12月	職員1名県消防学校専科教育予防科修了
	3月	日本自動車工業会より救急車1台寄贈される
		湯浅町、広川町災害弱者緊急通報システム運用開始
	4月	消防長に 竹内 久 就任(湯浅町から派遣)
	5月	職員1名和歌山県知事より功労章を受章する
	6月	第22回県下消防救助技術会へ出場(2名)
	7月	第22回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(2名)
	8月	積載車を購入、救助工作車として運用する
	9月	吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加
		職員6名(救急隊3名、救助隊3名)国道42号線上の救急救助活動により管理者から表彰される
	11月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
平成 6 年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
	4月	管理者に 湯浅町長 寺西 清氏 就任
		新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名)
		湯浅広川消防組合、有田消防組合、日高広域消防事務組合において中紀組合消防連絡協議会発足
	5月	職員1名和歌山県消防協会会長より功績章を受章する
	9月	県消防学校初任教育2名修了
		集団救急事故想定訓練を湯浅町で実施
	10月	原動機付自転車購入
	11月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
	12月	管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任
		職員2名県消防学校専科教育救助科修了
		事務所、会議室、仮眠室 車庫の増築完了
平成 7 年	1月	消防長に 須井 義和 就任(湯浅町から派遣)
		阪神・淡路大震災において職員2名救助隊員として派遣
	2月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅰ課程修了
	3月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
		職員1名派遣を解き湯浅町に帰任する(総員26名)
	4月	新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員27名)
	6月	第24回県下消防救助技術会へ出場(6名)
		甲種防火管理者資格講習会実施
	7月	広報車購入
	8月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(CD-1)を寄贈され受納式を挙行
	9月	県消防学校初任教育1名修了
		吉備町で行われた集団救急事故想定訓練に参加
	11月	職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
		職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了
		広川町津波避難訓練参加

- 平成8年
- 12月 職員2名県消防学校専科教育予防科修了
 - 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
 - 2月 湯浅御坊道路消防相互応援協定を締結
湯浅御坊道路消防相互応援協定に基づく覚書を締結
和歌山県防災ヘリコプター応援協定を締結
人員搬送車購入
 - 3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
和歌山県下消防広域相互応援協定を締結
和歌山県下消防広域相互応援協定に基づく覚書を締結
有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定を締結
有田市・有田消防組合・湯浅広川消防組合消防相互応援協定締結に基づく覚書を締結
湯浅御坊道路開通
 - 4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
消防長に 山崎 哲男 就任(湯浅町から派遣)
新規職員1名採用し県消防学校初任教育に入校(総員28名)
 - 5月 第11回職員救助練成会開催
 - 6月 第25回県下消防救助技術会へ出場(6名)
 - 7月 第25回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
 - 8月 職員1名退職(総員27名)
 - 9月 広川町津波避難訓練参加
第1回吉備町総合防災訓練に参加
県消防学校初任教育1名修了
 - 10月 湯浅広川消防組合消防職員委員会発足
 - 11月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了
職員1名退職(総員26名)
近畿府県合同防災訓練へ参加
- 平成9年
- 12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
 - 1月 職員2名県消防学校幹部教育中級幹部科修了
第1回消防職員委員会開催
 - 2月 山之内製薬会社より救急車1台寄贈される
職員2名(財)消防科学総合センター火災原因調査入門講座修了
 - 3月 職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
職員2名(湯浅町1名、広川町1名)派遣を解き両町に帰任する(総員24名)
消防本部・署の機構改革実施、3部制を導入する
和歌山市消防局と医療資器材等搬送応援協定(継続)を締結
 - 4月 新規職員5名採用し県消防学校初任教育に入校(総員29名)
湯浅広川消防組合応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱施行
 - 6月 第26回県下消防救助技術会へ出場(6名)
 - 8月 第34回和歌山県防災総合訓練へ参加
 - 9月 県消防学校初任教育5名修了
集団救急事故想定訓練を広川町で実施
 - 10月 職員1名救急救命士養成所東京研修所へ派遣
湯浅御坊道路防災訓練へ参加
行幸啓消防特別警備実施(天皇皇后両陛下たちばな養護学校)
 - 11月 職員2名県消防学校応急手当指導員講習Ⅰ修了
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
小型ポンプ軽積載車購入
第2回消防職員委員会開催
 - 12月 鉄骨1階建車庫の増築及び駐車場整備完了し、建築面積
474.69㎡、延べ面積627.66㎡となる。
- 平成10年
- 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
 - 3月 職員1名救急救命士東京研修所卒業
職員2名県消防学校専科教育救急科救急Ⅱ課程修了
 - 4月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任
職員1名救急救命士国家試験に合格
新規職員1名採用し県消防学校初任科入校(総員30名)
 - 5月 第13回職員救助練成会開催
 - 6月 第27回県下消防救助技術会へ出場(5名)

- 7月 甲種防火管理者資格講習会実施(24名受講)
- 8月 第27回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
- 9月 県消防学校初任教育1名修了
- 平成11年 10月 職員2名救急救命士養成のため東京及び神戸研修所に派遣
- 2月 水槽付小型消防自動車購入
- 3月 職員2名救急救命士・東京及び神戸研修所卒業
職員2名救急標準課程修了
- 4月 職員2名救急救命士国家試験に合格
新規職員1名採用し県消防学校初任科入校(総員31名)
- 6月 第28回県下消防救助技術会へ出場(6名)
- 7月 消防長に 山家 修 就任(湯浅町から派遣)
第28回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
甲種防火管理者資格講習会実施
- 9月 集団救急事故想定訓練を広川町で実施
県消防学校初任教育1名修了
- 10月 高規格救急車購入
- 11月 高規格救急車運用開始
消防長事務取扱に 上山 章善 就任(湯浅町助役)
防災指導車購入
職員2名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
- 平成12年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員3名救急標準課程修了
救助用ボート購入
- 4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
消防長事務取扱に 白倉 充 就任(広川町助役)
職員1名救急救命士養成所東京研修所へ派遣
- 6月 第29回県下消防救助技術会へ出場(9名)
- 7月 第29回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
- 9月 職員1名救急救命士東京研修所卒業
救助工作車購入
- 10月 職員1名救急救命士国家試験に合格
- 11月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
近畿府県合同防災訓練に参加
- 平成13年 3月 職員3名救急標準課程修了
- 5月 林野火災警防演習訓練
(防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加)
- 6月 第30回県下消防救助技術会へ出場(7名)
- 7月 第30回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
- 9月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業
集団救急事故訓練を湯浅町で実施
- 10月 職員1名県消防学校専科教育警防科修了
- 11月 職員1名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
職員1名救急救命士国家試験に合格
- 平成14年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員1名救急標準課程修了
- 4月 管理者に 湯浅町長 妻木 尚武氏 就任
消防長に 寺西 義次 就任(湯浅町から派遣)
- 6月 第31回県下消防救助技術会へ出場(6名)
- 7月 第31回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(6名)
- 10月 甲種防火管理者資格講習会実施
- 平成15年 2月 ドクターヘリ合同訓練実施
- 6月 第32回県下消防救助技術会へ出場(8名)
- 7月 消防長に 黒川 博務 就任(湯浅町から派遣)
第32回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(9名)
平成15年度防災航空隊連携訓練実施
- 8月 第32回全国消防救助技術大会へ出場(3名)
- 9月 和歌山県下(紀中ブロック)緊急消防援助隊合同訓練実施
- 11月 職員2名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
- 平成16年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される

- 3月 高規格救急車購入
4月 管理者に 広川町長 石原 久男氏 就任
6月 第33回県下消防救助技術会へ出場(8名)
7月 第33回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
9月 有田市で行われた和歌山県総合防災訓練へ参加
11月 職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
12月 職員2名県消防学校専科教育救助科修了
- 平成17年 1月 消防長に 三橋 雄作 就任(湯浅町から派遣)
職員1名消防協会有田支部長より表彰される
6月 第34回県下消防救助技術会へ出場(7名)
7月 第34回消防救助技術東近畿地区指導会へ出場(3名)
9月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業
集団救急事故訓練を湯浅町で実施
10月 管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任
職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了
近畿府県合同防災訓練に参加
11月 職員2名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
- 平成18年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員1名和歌山県消防協会会長より功労賞を授与する
4月 管理者に 湯浅町長 伏木 建氏 就任
6月 第35回県下消防救助技術会へ出場(5名)
7月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了
8月 第35回全国消防救助技術大会へ出場(3名)
10月 平成18年度防災航空隊連携訓練実施
職員1名県消防学校救急救命士気管挿管講習課程修了
11月 緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
- 平成19年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 ポンプ車購入
人員搬送車購入
4月 新規職員2名採用し県消防学校初任教育に入校(総員32名)
5月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
湯浅広川消防組合、有田川町消防本部、有田市消防本部において、有田地域消防連絡協議会発足
6月 広報車購入
第36回県下消防救助技術会へ出場(5名)
8月 財団法人宝くじ協会より消火通報訓練指導車「けすゾウくん」を寄付される。
9月 県消防学校初任教育2名修了
11月 職員1名県消防学校専科教育予防科火災調査課程修了
- 平成20年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員2名救急標準課程修了
4月 管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任
消防長に 辻岡 尚男 就任
新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校(総員32名)
5月 職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
6月 第37回県下消防救助技術会へ出場(7名)
7月 職員1名消防大学校火災調査科修了
8月 平成20年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練に参加
9月 県消防学校初任教育1名修了
10月 職員1名県消防学校幹部教育上級幹部科修了
林野火災警防演習訓練
(防災航空隊・湯浅町消防団・広川町消防団参加)
11月 職員1名県消防学校専科教育救助科修了
平成20年度防災航空隊連携訓練実施
- 平成21年 12月 職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了
1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員1名救急救命士・九州研修所卒業
職員1名救急標準課程修了
4月 職員1名救急救命士国家試験に合格
新規職員1名採用し県消防学校初任教育科入校(総員32名)
6月 第38回県下消防救助技術会へ出場(8名)

		平成21年度合同水難救助訓練実施 (有田川町消防本部・湯浅警察署参加)
	7月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
	9月	県消防学校初任教育1名修了
	11月	職員1名県消防学校専科教育警防科修了 緊急援助隊中紀ブロック訓練に参加
	12月	職員1名県消防学校幹部教育中級幹部科修了
平成22年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される 職員1名和歌山県知事より永年勤続功労章を表彰される 職員1名県消防学校専科教育救急科修了
	4月	管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任 職員1名救急救命士国家試験に合格 有田市消防本部・有田川町消防本部・湯浅広川消防組合 消防本部・日高広域消防事務組合消防本部・御坊市消防本部において紀中消防連絡協議会を発足
	5月	高規格救急車購入
	6月	第39回県下消防救助技術会へ出場(10名)
	8月	職員1名全国消防協会より全国優良消防職員表彰される
	9月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了 水難救助車購入 集団救急事故訓練を湯浅町で実施
	11月	職員1名県消防学校専科教育救助科修了 潜水隊発足(隊員9名)
	12月	職員1名県消防学校専科教育予防科修了
平成23年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	東日本大震災において職員6名を緊急消防援助隊として宮城県石巻市へ派遣 職員3名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続 功労章を表彰される
	4月	新規職員2名採用し県消防学校初任教育科入校(総員34名)
	5月	平成23年度合同水難訓練実施(海上保安庁、泉佐野消防本部)
	7月	職員1名救急救命士薬剤投与追加講習修了
	9月	県消防学校初任教育2名修了 平成23年度合同水難救助訓練を実施(有田市消防本部) 台風12号において職員6名を和歌山県下消防広域応援隊として新宮市へ派遣
	10月	緊急援助隊中紀ブロック訓練に職員3名が参加
	12月	職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了
平成24年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される 職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される 職員13名全国消防長会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される
	4月	管理者に 広川町長 白倉 充氏 就任
	7月	平成24年度合同水難訓練を実施(海上保安庁、日高広域消防事務組合消防本部、御坊市消防本部)
	8月	平成24年度合同水難救助訓練を実施(御坊市消防本部、日高広域消防事務組合消防本部)
	11月	職員1名県消防学校専科教育警防科修了 平成24年度阪和自動車道路防災訓練実施
	12月	職員2名県消防学校専科教育救助科修了 職員1名県消防学校専科教育初級幹部科修了
平成25年	1月	職員1名消防協会有田支部長より表彰される
	3月	職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される
	4月	新規職員2名採用し県消防学校初任教育科1名入校(総員36名)
	6月	第42回県下消防救助技術会へ出場(10名)
	7月	職員1名退職(総員35名) 平成25年度警察、消防合同水難訓練を実施 (有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署)
	8月	有田市合同水難救助訓練を実施
	9月	新規職員1名採用(総員36名) 県消防学校初任教育科1名修了
	10月	管理者に 広川町長 西岡 利記氏 就任 職員2名県消防学校火災調査科修了

- 11月 職員1名県消防学校予防査察科修了
- 平成26年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される
職員1名和歌山県知事より功労章を表彰される
職員2名県消防学校専科教育救急科修了
- 4月 管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任
職員1名県消防学校初任教育科入校
- 6月 第43回県下消防救助技術大会へ出場(8名)
平成26年度警察・消防合同水難訓練を実施(有田川町消防本部、有田市消防本部、湯浅警察署)
- 7月 職員3名救急救命士処置拡大追加講習修了
- 9月 兵庫県火災調査研修に参加(4名)
有田市消防本部合同水難訓練を実施(9名)
職員1名県消防学校初任教育科修了
- 10月 職員1名県消防学校専科教育上級幹部科修了
緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加(7名)
- 平成27年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員2名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される
職員3名和歌山県知事より功労章を表彰される
職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される
職員1名救急救命士・東京研修所卒業
職員1名県消防学校専科教育救急科修了
- 4月 職員1名救急救命士国家試験に合格
湯浅広川消防組合新庁舎竣工式
湯浅広川消防組合新庁舎業務開始
- 6月 第44回県下消防救助技術大会へ出場(9名)
- 7月 平成27年合同水難訓練を実施(湯浅警察、有田川町消防本部、有田市消防本部)
職員1名救急救命士薬剤投与追加講習終了
- 10月 緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加(3名)
職員1名県消防学校専科教育中級幹部科修了
- 11月 職員1名県消防学校火災調査科修了
- 12月 職員1名和歌山県消防学校専科教育警防科修了
有田郡市集団災害訓練に参加(7名)
- 平成28年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
- 3月 職員1名県消防学校通信指令専科修了
職員1名和歌山県知事より功労章を表彰される
職員1名救急救命士・東京研修所卒業
- 4月 管理者に 広川町長 西岡 利記氏 就任
職員1名救急救命士国家試験に合格
県消防学校初任教育科2名入校
警察合同防災訓練実施
- 6月 第45回県下消防救助技術大会へ出場(9名)
- 8月 有田市合同水難救助訓練を実施
- 9月 緊急消防援助隊紀中ブロック訓練実施(5名)
県消防学校初任教育科2名修了・続いて専科教育救急科に入校
救助潜水士研修参加(1名)
- 10月 救助潜水訓練士講習参加(1名)
- 12月 県消防学校専科教育救急科2名修了
- 平成29年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
平成28年度集団救急事故訓練実施
- 3月 タンク車購入
太陽光発電設備設置事業完成(太陽光発電設備10kW、蓄電池設備15kWh)
職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰功労章を表彰される
職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される
職員1名退職(総員37名)
- 4月 消防長に 大西 和彦 就任
新規採用職員1名採用し県消防学校初任教育入校(総員38名)
- 6月 第46回県下消防救助技術大会へ出場(9名)
潜水隊2名合同潜水訓練参加(那智勝浦町消防本部他県内6消防本部)
- 9月 平成29年有田市合同水難訓練参加(有田警察署、有田市消防本部、有田川町消防本部)

- 平成29年警察・消防合同訓練参加(湯浅警察署、有田市消防本部、有田川町消防本部)
湯浅・広川両町消防団及び和歌山県防災航空隊との連携訓練実施
職員1名県消防学校初任教育修了
- 10月 高規格救急車購入
職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了
職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了
- 11月 湯浅町防災フェスタ開催
県下消防職員体育訓練大会(第17回駅伝大会)参加(8名)
職員1名県消防学校専科教育救助科修了
職員2名県消防学校特別教育ポンプ操法指導員教育修了
- 12月 職員1名県消防学校特別教育自然災害対応教育修了
職員1名県消防学校幹部教育初級幹部科修了
- 平成30年 1月 職員1名消防協会有田支部長より表彰される
3月 職員1名消防庁長官より消防功労者消防庁長官表彰功労章を表彰される
職員1名県消防学校専科教育救急科修了
職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される
職員2名退職(総員36名)
- 4月 管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任
消防長に 上田 哲也 就任
新規採用職員4名採用し県消防学校初任教育入校(総員40名)
- 6月 第46回県下消防救助技術大会へ出場(9名)
- 8月 平成30年警察・消防合同訓練(湯浅警察、有田川町消防本部、有田市消防本部)
- 9月 防災指導車購入
職員1名救急救命士・東京研修所卒業
職員4名県消防学校初任教育修了
- 10月 職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了
職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了
職員1名県消防学校中級幹部科修了
- 11月 職員2名県消防学校火災調査科修了
- 12月 職員1名県消防学校専科教育特殊災害科修了
職員1名県消防学校上級幹部科修了
- 令和元年 1月 職員1名有田地域消防協会長より表彰される
職員1名和歌山県消防協会長より20年勤続を表彰される
- 2月 職員1名消防大学校幹部科修了
- 3月 職員1名全国消防長会会長より全国消防長会永年勤続功労者表彰30年勤続を表彰される
職員1名日本消防協会会長より日本消防協会会長表彰30年勤続章を表彰される
職員1名和歌山県知事より和歌山県知事表彰永年勤続功労章を表彰される
職員1名和歌山県消防協会総裁より和歌山県消防協会総裁表彰功績章を表彰される
職員2名消防庁長官より消防庁長官表彰永年勤続功労章を表彰される
職員3名県消防学校専科教育救急科修了
軽多目的車購入
職員3名退職(総員37名)
- 4月 消防長に 牛居 初穂 就任
職員1名救急救命士国家試験に合格
職員1名再任用、新規採用職員2名採用し県消防学校初任教育入校(総員40名)
- 6月 第47回県下消防救助技術大会へ出場(8名)
- 7月 職員1名消防大学校幹部科修了
- 9月 職員1名県消防学校特別教育水難救助教育修了
- 10月 職員1名県消防学校特別教育潜水救助教育修了
- 11月 県下消防職員体育訓練大会(第18回駅伝大会)参加(7名)
職員1名専科教育救助科修了
職員1名専科教育警防科修了
救助工作車購入
- 12月 職員1名特別教育自然災害対応教育修了
職員1名幹部教育初級幹部科修了
- 令和2年 1月 職員1名有田地域消防協会長より表彰される
3月 職員2名県消防学校専科教育救急科修了
職員1名退職(総員39名)
- 4月 職員1名救急救命士国家試験に合格

新規採用職員3名採用し、県消防学校初任教育入校(総員42名)

9月 職員1名救急救命士・東京研修所卒業

職員3名県消防学校初任教育修了

10月 職員2名県消防学校専科教育救急科2名入校

12月 県消防学校専科教育救急科2名修了